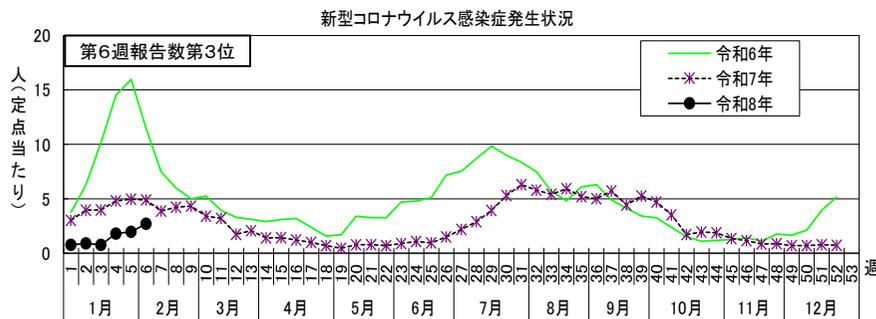
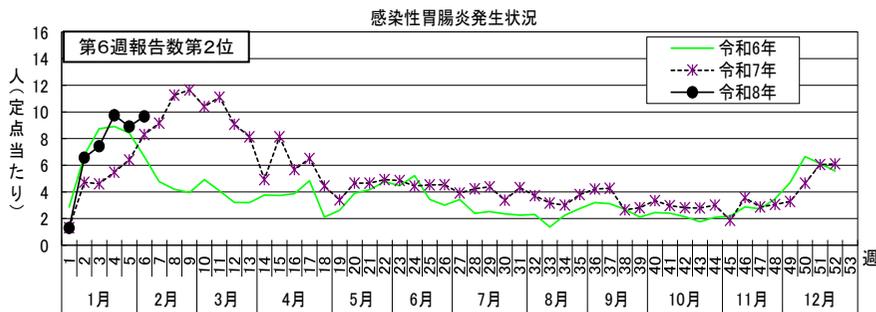
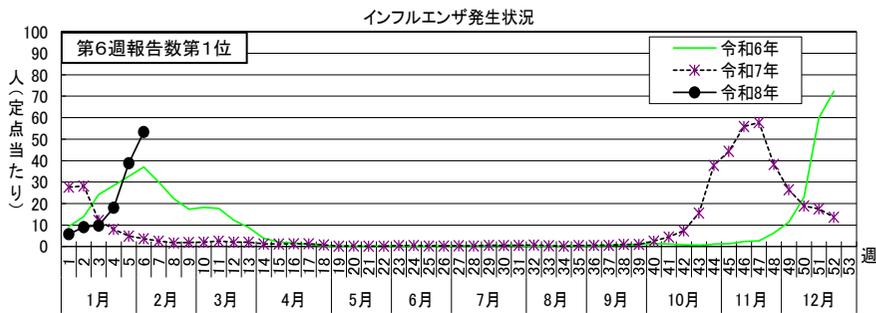


# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和8年2月2日（月）～令和8年2月8日（日）〔令和8年第6週〕の感染症発生状況

第6週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 感染性胃腸炎 3) 新型コロナウイルス感染症でした。  
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は53.38人と前週(38.83人)から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は9.68人と前週(8.92人)から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。  
 新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は2.72人と前週(1.97人)から増加しました。



## 全国で麻しんの報告数が急増しています！

麻しんは、麻しんウイルスを原因とする急性感染症で、免疫のない人が感染するとほぼ100%発症し、重症化すると死亡することもあります。国内では麻しんは排除状態にありますが、令和8年は1月末から首都圏を中心に麻しん患者が急増しており、川崎市内でも2件の報告がありました。

麻しんの予防にはワクチン接種が有効ですが、十分な免疫を獲得するためには2回の接種が必要です。定期接種を受けられる期間は決まっていますが、一部の対象者については期間の延長等を実施しています。予防接種歴を確認し、特にお子さんは確実に2回の接種を受けましょう。

### 麻しんとは？



- 【感染経路】 飛沫感染、接触感染、空気感染
- 【潜伏期間】 7日～最長21日間（概ね10日～12日）
- 【症状】 発熱、咳、鼻汁、発しん、結膜充血等
- 【合併症】 肺炎、中耳炎、脳炎
- 【予防方法】 麻しん含有ワクチン（MR ワクチン等）の接種

### 麻しん・風しん(MR)定期予防接種の対象者

- 【第1期】 生後12月から生後24月に至るまでの間にある者
  - 【第2期】 小学校入学前の年度1年間（4月1日～翌年3月31日）
- ※次の対象者については、定期接種の期間が令和9年3月31日まで延長されています。



- 【第1期】 令和6年度内に生後24月に達した方
- 【第2期】 令和6年度に小学校就学前1年間に該当する方

川崎市に住民登録があり、定期の麻しん風しん第1期又は第2期の予防接種を受けられなかったお子さんで次のいずれかに当てはまる方は、任意接種を無料で受けられます。  
**【第1期分】** 2歳から3歳に至るまでの間にあるお子さん  
**【第2期分】** 小学校1年生のお子さん  
 事前申請が必要となりますので、詳細は川崎市のホームページを御確認ください。